

「第68回長浜市美術展覧会」を開催します

長浜文化芸術会館(☎63-7400)

長浜・米原市に在住在勤のみなさんが制作した渾身の美術作品を展示します。入場無料。

●第1期 日本画、洋画の展示

【と き】9月3日(土)～8日(木)9時～17時

●第2期 写真、書、彫刻、工芸の展示

【と き】9月13日(火)～18日(日)9時～17時

※1・2期とも最終日は16時まで

◇オープニングコンサート

弥生会による箏・尺八演奏でお迎えます。

【と き】9月6日(火)18時～18時30分

【ところ】長浜文化芸術会館(大島町)

◇市展ギャラリートーク

審査員による入賞作品の講評会です。今年はずべての部門で開催いたします。鑑賞する際のポイントや今後の創作活動の参考に! 入場無料。

【と き】

・日本画 9月4日(日) 13時30分～15時
 ・洋画 9月6日(火) 18時30分～20時
 ・彫刻・工芸 9月17日(土) 13時30分～15時
 ・写真 9月18日(日) 10時30分～12時
 ・書 9月18日(日) 13時30分～15時

【ところ】長浜文化芸術会館(大島町)

第46回滋賀県芸術文化祭参加事業

「第41回長浜市芸術文化祭」行事 9月・10月上旬の開催事業

長浜文化芸術会館(☎63-7400)

◇長浜市芸術文化祭協賛写真展

9月1日(木)～9月30日(金)11時～21時/北近江リゾート/会員約30人が独自の視点から切り取った写真作品を展示。

◇うたごえ会

9月4日(日)13時～15時/市民交流センター/ピアノ・ヴァイオリンの生演奏で童謡・フォークソング・世界の名曲などを合唱/500円

◇長浜茶道愛交会 茶会

9月4日(日)、10月23日(日)、11月13日(日)9時～14時/慶雲館(梅の館)/茶道の素晴らしさを伝えるお茶会/1回(2席)1,000円(慶雲館鑑賞は要入館料)

◇長浜市舞台芸術交流祭

9月22日(木・祝)13時30分～16時/リュートプラザ/邦楽、舞踊など舞台芸術で活動される団体の発表。

◇秋桜コンサート

9月24日(土)18時30分～20時30分/小谷こども園/ミュージカル曲、日本歌曲、歌謡曲など20曲を、声楽とピアノ、ヴァイオリンの演奏でお届けします/一般1,000円 小・中学生500円

◇みんなで歌おう

フォークソングと歌謡曲

9月25日(日)13時30分～15時30分/長浜公民館/フォークソング、歌謡曲等をみんなで楽しく歌うコンサート/500円

◇湖冠句231号9月句会

9月27日(火)13時～16時/市民交流センター/「正風冠句」を啓発し、創作の喜びと交流を広げます。投句締切は9月16日。当日披露を行います/500円

◇彩画会作品展

9月27日(火)～29日(木)9時～17時(最終日のみ16時30分)/長浜文化芸術会館/会員の水彩画の展示。風景画や人物画など60点余りを出品。

◇第34回松月堂古流 秋のいけばな展

10月1日(土)～2日(日)9時～16時/長浜文化芸術会館/日本生花司松月堂古流の生花、現代花、流麗花の作品展。

◇長浜だから舞夢ろまん

10月2日(日)13時30分～15時30分/武徳殿/剣舞や歌謡舞など、日本の伝統を継承する光稔振付の舞。

※参加費表記のない
行事は入場無料

◇陶芸・かな書道・ステンドグラス作品展

10月7日(金)～9日(日)9時30分～17時(最終日は15時)/長浜文化芸術会館/かな書道、陶芸、ステンドグラス作品を展示。

◇書と料紙を楽しむ 筆花会書展

10月8日(土)～10日(月・祝)9時30分～17時(最終日は16時)/曳山博物館 伝承スタジオ/今年のテーマは「かな料紙を楽しむ」。自作の紙でかな作品を作成、漢字作品と展示します。

◇池坊滋賀北支部 いけばな池坊展

10月8日(土)～10日(月・祝)10時～17時(最終日は16時)/長浜市役所1階多目的ルーム/いけばな池坊の作品展。

◇北郷里フェスティバル

10月8日(土)9時～16時、9日(日)10時～15時/北郷里公民館とその周辺/各サークル作品展と発表。自治会による模擬店。

◇第9回ひょうたん寄席(落語会)

10月9日(日)15時～17時/市民交流センター/笑福亭仁昇、笑福亭扇平、林家染太、桂紋四郎、落語四席/一般1,300円(当日1,500円)



大澤寺梵鐘

指定日 平成3年9月12日指定
大澤寺蔵(木之本町黒田)

北陸自動車道木之本ICから北西へ約2kmに位置する黒田大沢集落の高台に、大澤寺があります。急な石の階段がしばらく続き、登りきった所に堂宇があり、上段の少し離れた場所には、鐘堂があります。

鐘堂の梵鐘は、総高約101cm・龍頭高約17cm・鐘身高約79cm、最大径約63cm・最大内径約57cmで鋳銅製です。

寺伝によると天正11年(1583)、賤ヶ岳合戦で柴田勝家方の猛将佐久間盛政が敵方の羽柴秀吉軍が着陣したことを味方に知らせるために乱打した鐘と伝わります。

鋳上りのよい通例の梵鐘ですが、池の間に次のような陰刻銘があります。「近江国伊香郡中庄ノ黒田郷大澤寺之鐘事ノ領家方村人ノ右修理田成国名内三反ノ半一反半者修理田二反者ノ鐘撞給也ノ応永十九年壬辰九月十四

日ノ地頭方村人敬白ノ大工兵衛尉八田部守友」

この銘文により、応永19年(1412)に八田部守友によって造されたことが確認できます。八田部(矢田部)を姓とする鑄物師は既に正応3年(1290)の大津市・正源寺の梵鐘に現れ、坂田郡あたりを本貫とするともいわれています。

さらに注目されるのは、この梵鐘の修理費を捻出するための田地や鐘を撞く者への給金とみられる記述があることで、領家方と地頭方の地域の住民合意によってこの鐘の維持に関わる事項などが認められていることです。仏に関わる梵鐘についての取り決めに、その梵鐘自体に刻んで後世への証しとしたと思われませんが、作品としての出来栄えとともに銘文も極めて貴重で、注目されます。

問 長浜城歴史博物館
(☎63-4611)

